

2021 年度第 3 回 BLCJ 在り方・運用合会 議事録(案)

日時：令和 3 年 10 月 29 日(金)15:00～16:30

場所：Teams によるオンライン会議

資料：

- 【在・運 3-0】議事次第
- 【在・運 3-1】在り方部会・運用部会組合員リスト
- 【在・運 3-2】第 2 回在り方・運用合同部会議事録
- 【在・運 3-3】2021 年度受託業務の概要
- 【在・運 3-4】在り方・運用部会活動概要

出席者：

氏名	所属	氏名	所属
安田 幸一	東京工業大学/在り方部会長	飯島 勇	福井コンピュータアーキテクト(株)
山本 康友	東京都立大学/運用部会長	井上 直樹	(株)ダイテック
高倉 智志	(公社)ロングライフビル推進協会	安孫子義彦	(責)C-PES 研究会
吉田 哲	(株)日建設計	後藤 孝二	(株)構造計画研究所
山下 純一	buildingSmart Japan	田中 武	(株)久米設計
大森 文彦	大森法律事務所	山本 愛	鹿島建設(株)
板谷 敏正	プロパティデータバンク(株)	足達 嘉信	鹿島建設(株)
香月 創星	丸紅アークログ(株)	関根 悦子	(株)ノーリツ
渡邊 純一	パナソニック(株)	河内 彩	東急建設(株)
小柴 慎一	パナソニック(株)	田中 武	(株)久米設計
上野 賢	パナソニック(株)	野口 順二	日本メックス(株)
岡村 徹	佐藤工業(株)	帆足 弘治	(一財)建設業振興基金
本谷 淳	(株)大林組	村田 靖彦	キャデナス・ウェブ・ツー・キャド(株)
鬼頭 篤子	(株)大林組	長谷部 洋輔	日本郵政(株)
小河原 直人	東急建設(株)	寺本 英治	BIM ライブラリ技術研究組合
富樫 俊文	地方共同法人 日本下水道事業団	山口 浩史	BIM ライブラリ技術研究組合
繁戸 和幸	(一社)日本建築士事務所協会連合 会/(株)安井建築設計事務所	洪田 玲	BIM ライブラリ技術研究組合
		福島 孝治	BIM ライブラリ技術研究組合

議事：

安田：(開会挨拶)

事務局：【資料 在・運 3-2】議事録確認)

1. 2021 年度受託業務の概要

事務局：【資料 在・運 3-3】に基づき 2021 年度の受託業務の概要を説明

安田： 具体的な提案になってきた。P6,属性情報を継続的に供給する手法について、「継続的」の意味は。

寺本： 標準そのものの継続的な検討、情報のアップデート、追加が必要となる。
オブジェクトに入れる手法としては、インポーターやアドオンソフトを使って入れる方法を考える。BIM ベンダー自身が提供するオブジェクトの中に入れることを了解すればそれでも良い。BIM ベンダー、メーカー、既存ライブラリに供給するには契約的な概念も必要となる。

安田： 供給範囲はどれくらいのターゲットを見ているか。

寺本： マンパワーがどれだけかかるかが問題。現在は 5 つの製品カテゴリ。

安田： 限定的なカテゴリで留めるのか。

寺本： 一般的な図面の

安田： BLCJ の今後の活動ロードマップをどう整理するか。具体的にはどういう組織変更を考えているか。

寺本： 組織論でいえば財団法人より社団法人。業務範囲をどこまでにするかによって組織の形態も変わってくる。ビジネスモデルの検討ともリンクしてくる。

2. 在り方・運用合同部会活動概要

事務局：【資料 在・運 3-4】に基づき、在り方部会、運用部会の活動概要を説明

ビジネスモデル WG について月 1 回 WG を行っており、ライブラリサイト運営者 4 社に忌憚ない意見を頂いている。公的性格の強いことを活かしていく。ライブラリの製作と運用を継続的に可能か、資金と人材等について検討を行っている。

寺本： 標準仕様書のデジタル化と BIM オブジェクト標準 ver2.0 等との関係について単純な紙のデジタル化ではなく BIM との連携のため、標準仕様書の項目のデータベース化を作業中。

安田： P8、9 の特記する部分の表について、選択肢とするのか自由記載とするのか。簡単なものとしてほしい。

寺本： 選択肢のあるものはプルダウンメニュー形式とする予定。

3. その他

(質疑無し)

次回以降日程：

第4回 令和3年12月22日(水)10:00～11:30

第5回 令和4年2月22日(火)15:00～16:30